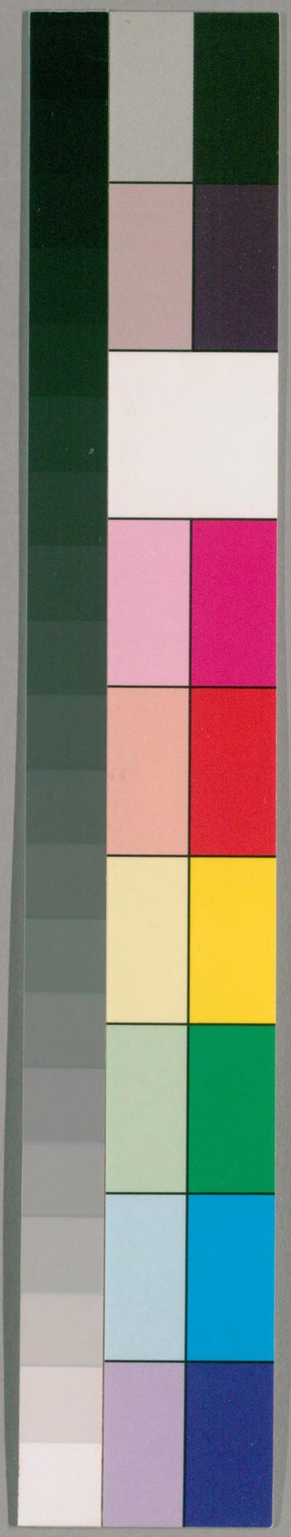
838
297
116

辻
井内



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

藤原姓

坪内　本國美濃　紋洲濱　上藤内友鎌

尾張

加州富樫从家國後裔

坪内藤左内男惣兵衛男

勝定　坪内藤七郎　玄蕃頭

居住美濃國属土岐家幕下名濃州松倉里

慶長十四年己酉正十歿年九十四

利定　坪内玄蕃頭　始喜太郎

生美濃

永祿七年甲子仕織田信長信忠今年功

天正十年壬午於信州高頭父子得首級其外鉄炮働

信忠感之授書於父子

根岸信輔氏寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

[illegible]

天正十三年九月廿日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大神君

天正十六年[illegible]賜上總州山口千五百石外武州伊奈木峰五百石子共四人上總州屋卿棒邑天寺卿高根邑等千四百石凡二千四百石慶長五年[illegible]奥州小山往行男子五人俱至小山引具鉄炮者五十人未坂而偏井伊兵部少輔道政四人各得首一級充同六年辛丑賜月知濃州松倉里

家定　坪内源太郎

女

生義濃

天正十二年甲申長久手役奉

大神君之命小牧近小折砦生駒八右衛門同邑吉之郎置焉
木曾川筋也坪内在所近以命葉内依常真之指揮而
生駒八右門奉番頭舅故為小折援兵小牧山而以牧野
本多門取次拜謁
大神君至小折砦是時伐升候之人
慶長五年庚子関原役井伊兵部少輔而伐敵之人
大坂役兄弟三人外賜預鉄炮五十挺陣于御旗本預同心
慶安元年丙子十廿四歿年
于泉義

安定　坪内太郎兵衛
生美濃
慶長五年庚子関原役供奉合鋪得首級而疵邑

同十七年辛丑正十七歿
坪内加兵衛

定吉　生同
慶長五年庚子関原役得首級　嗣父弥居美濃州内寺
正保四年丁亥四十四歿

加兵衛　加兵衛
妻坪内伊豆守定堅女

加兵衛　妻本所惣録豊濃検校女
母坪内伊豆守女

女子　遊佐加兵衛　妻宗庵母

某　坪内圭左衛門
　　圭太郎
　　女子　尾州内矢島惣五郎　寿
某　坪内源左衛門
別祔三郎左衛門　長八郎
為分部右京亮内別祔三郎左衛門養子
足立新助
為加藤龍雲寺　足立新助　養子
　　以見平高係十郎他兵力
女子　高島直五郎　寿
　　尾州内
女子　山中鉄八
長島長兵衛

　　文内見平新庄傍二郎手力
　　松兵衛
　　実薄井源大夫　寿
　　女子　嫁養子

正定　坪内佐左衛門
　　生同
慶長五年本子開原役得首級祔庶君兄知行得内分
寛永十四年丁丑五十五歿号即宣

定義　坪内権兵衛　権左衛門
　　居濃州平島邑
　　万治二年己亥正八歿年六十八号鉄嶺堅生
一定　坪内清兵衛
　　定哉　坪内源左衛門
公定　坪内藤左衛門
　　甲府定番兵力

定英　坪内権兵衛　佐左門
貞享元年甲子四十八歿于智鑑

定肆　坪内十戒　延宝六年戊午十二月二日
于正十戒

次顯　羽衆二郎左衛門　次秀　金大夫　李多八左衛門
仕保科保正家改羽衆　母柘植清左衛門女
仕大久保加賀守

判定　坪内三太郎　佐左衛門
享保五年庚子勤仕改圖書

定基　坪内造酒元　佐左衛門

秀定　坪内五郎左衛門
生國同
慶長廿年乙卯大坂役得首級桐内也阿部備中守組牧馬
大御番

行定　坪内久太郎
生同
辰七月　歿

公定　坪内清九郎　藤右衛門
實同姓佐左衛門正定三男

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生母 美濃
元和六年庚申始拜
大猷公為御側御小性賜百五十俵無程加百俵亦加百俵
凡賜三百五十俵後為大御番承應元年辰嗣秀定跡
万治元年戊戌二月三為沙田帯刀組無頭加二百俵改賜
常州鹿島郡寛文元年辛丑十二十二加二百石常州真壁郡
新治郡筑波郡凡七百五十石然依同姓平左衛門出生不詳
養父跡式為別家同五年己巳二月依病辭致仕
同九年己酉八月六歿

三
伊定 坪内藤七郎
母
生母

寛永十八年辛巳五 部屋住為大御番水野備後守組賜
二百俵承應元年辰十十八秀定死以為有實子不継家督
為別家万治三年庚子三五為大御番組頭
寛文元年辛丑十二十二加二百俵
延宝六年戊午三五為二條御門番天和二年壬戌八六於
二條而歿

正 長谷川刑部
母同
為長谷川刑部 養子
安藤源右衛門
母同
為安藤彦四郎 養子依頓戻実方

四

意定　坪内又七郎

母同

生江戸

新規為大御番賜二百俵

元禄六年癸酉七十一致仕

定弘　坪内藤助

母

生江戸

元禄六年癸酉七十一家智菊間御老中列坐大久保加賀守

傳之為小普請同部丹波守組

同七年甲戌五十九為大御番水野長門守組同年十二三

御免為小普請溝口摂津守組同十六年己未五廿七為

大御番稲葉駿河守組　宝永八年辛卯三四致

定　坪内左仲

寅

童母

生江戸

正徳元年辛卯五十六跡目三百俵菊間御老中列坐

井上河内守傳之為小普請

享保九年甲辰八十三為甲府勤番奥津能登守事配

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

定喜 坪内新太郎
母

生江戸

女子
母

瀧野元壽元智壽

定正 坪内新成
母

女子
母

庄 五郎大夫次憲重

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

定好

吉田八十郎　助右衛門

母吉田氏

正保元年甲申生江戸

寛文三年癸卯十一十九新規　為御小性組松平綱殿頭組

賜三百俵後仍病辞　為小普請

三枝摂津守組時　寶永五年戊子　歿年六十五

定

坪内主税

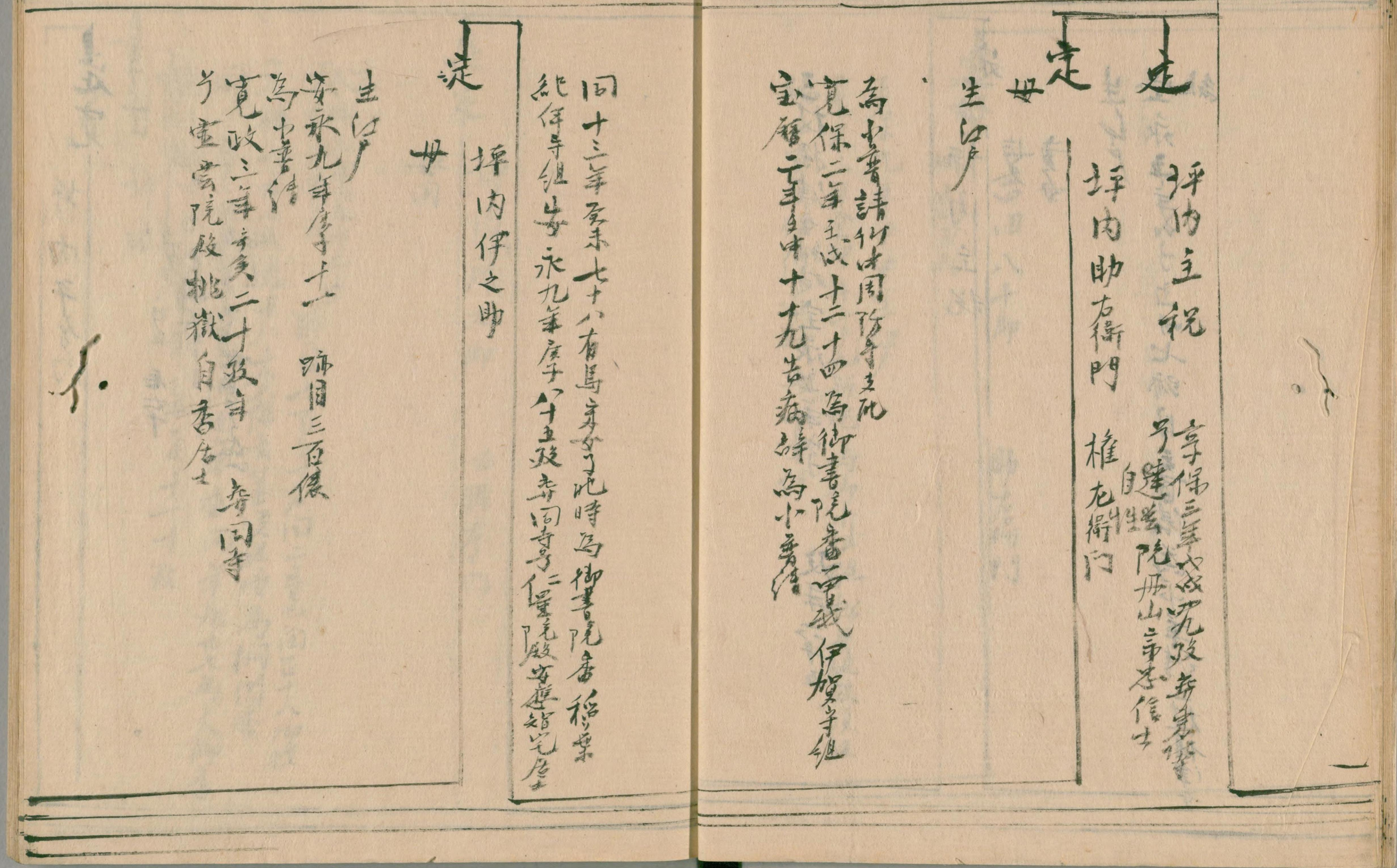
妻

妾母

生江戸

寶永五年戊子五廿七跡目三百俵　為小普請三枝摂津守

組



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

定寛　坪内平左衛門

幸之助
平左衛門　後改　居宇

長定　坪内藤九郎　後源右衛門

母同

生江戸
天和元年辛酉十二十
天和二年壬戌　跡目七百五十石　同二年己亥正十八　御目見
元禄七年甲戌九廿八　大久保安芸守番頭組　時為桐間番
同八年乙亥六十三　為御近習番　同年九廿七為大御番
定代越中守組　宝永六年己丑十一十　歿

母同

坪内

坪内

女子
母同

母同
寛
播磨守室賀妻

坪内
女

坪内
母同

坪内久四郎
始亀之助
母同

定興

生江戸

定根
坪内助右衛門
母同
為同姓孫九郎養子

宝永六年己丑十二廿五始目見同西御老中列坐土屋相模守傳之為小書院松平主計頭組享保四年己亥八二為酒井大学頭組同七年壬寅九月割入金田周防守組同十二年丁未十二廿為大御番酒井日向守組延享元年甲子九十五没

定秋
坪内藤九郎
實長谷川半四郎正冬三男
實母

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

妻久松流後寺定卿女

生江戸
寛保二年壬戌八月六以男續為養子延享元年甲子十二二
跡目七百五十石為小普請戸川内成助支配同五年戊辰五十三
為大御番遠藤備前守組寛延四年辛未六十八隠新御番
西丸神保四郎左衛門組宝暦七年丁丑七月六改

定英　坪内宋女　名四郎
實松下左大史状綱二男　又従弟
貴女
妻遠山十右衛門景信女　離縁
妻養父定秋女

生江戸
宝暦七年丁丑十八跡目七百五十石為小普請川口能登寺
支配同年十二六継目御禮献銀馬代
同八年戊寅六八為大御番久留島信方寺組
同十年庚辰九十五一同　御目見安永三年甲午三四
替未倉丹後守組同五年甲申五廿七為大御番
本多陸路守組與頭寛政十二年庚申十二十二為
西丸御先手筒頭同十六日布衣寺和二年壬戌五廿九
西丸附一同拝
大納言公同三年庚戌十一廿歿

女子　嫁　定英

定

坪内右膳

實千賀道隆法眼　二君

實切角田六郎左衛門　女

妻養父定英養女

生江戸

安永八年乙亥十二廿七聟養子松平周防守傳之

同九年庚子七月始　御目見享和三年癸亥十二廿五

跡目七百五十石　外六十石二斗四畧二合五夕此高二百卅石九斗四升四合新田　常州鹿島郡

二郡七百七十石　同真壁郡三郡八百九十石　同新治郡四十一石五斗七升二合

筑波郡　北七石　菊間郡御老中刊里戸四年家傳之為書請

本多兵庫子能文化元年甲子十二十四為御書院番本多

同六年己丑八改久四郎

女子　養子久四郎

實安藤山城守定　女

實母

妻

定

坪内　薙次郎

母定英子

妻千賀道有　女

生江戸寺和二年戊子九十歳

女子　為祖父養女

与子
實同姓蓋次郎　女
文化五年戊辰七九為養女

定信　坪内平左衛門　松山三郎
母

生出戸
寛永十三年丙子新規為大御書水野備後守組賜
二百俵承應元年辰十十八史五郎右衛門秀定政為定信
實子継遺跡寛文四年甲辰閏五廿八為同組頭
同年十二廿五加二百俵

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

定經　坪内甚三郎　平左門

女

生江戸

寛文七年丁未十一廿一部屋住為御小姓組松平内記組

同九年己酉賜三百俵

定船　坪内藤四郎　権之助　五郎左門

女

生江戸

妻　新見但馬守

女　寛保二年戌十二月依組

享保元年甲申十二五家督八百石菊間而御老中列坐阿部豊後守傳之為小普請松前伊豆守組同三年戊子六月御番同廿一年丙辰四月廿七竹中周防守配時為大御番

延享元年甲子十一月為西丸新御番諏訪七左門組改権之助于五郎左門宝暦十一年己巳八月割人有馬兵女組同十二年辛午十二十五為西丸附

定　坪内千太郎

女

生江戸

明和　年

跡目八百石為小普請高力式部子配

明和三年丙戌二月七日為御小納戸同六年己丑二月八日為中丸
御小納戸安永八年己亥、為寄合
天明元年辛丑四廿一再為西丸御小納戸同年五月八日為中丸
御小納戸寛政六年甲寅九六為
若君御所御小納戸

坪内千太郎
母
生江戸

同二十年乙卯九十九部屋住御書院番土井備前守組賜
三百俵寛保二年壬戌十二二跡目六百俵
天明七年丁未八廿四因老絆賜金二枚為小普請松平
求馬支配寛政七年乙卯十二廿五歿年　葬善寺

女子
母
深尾金十郎
妻

伴
母
權右衛門
為伴
養子

長起
母
為兄長敦
養子

女子 母同

丸山 貞安 一家

童形 母

延享四年丁卯三月四日卒 同寺
予 徳元院即空童子

女子 母同

宝暦五年乙亥二十四日卒 同寺
予 春林妙智童女

某 母同

壷井

宝暦十三年癸未二月日卒 同寺
予 春晩院覚夢童子

長起

壷井源太郎 傳右衛門

安房

妻 水原近江守保明女

文化 年 跡目

八百石 内無小物成 外六十四石八斗五升 巻之文也高 上総州長柄郡 八十石 同武射郡
五十石 下総香取郡 二百五十六石 二斗五升 巻 常州鹿島郡 二百石 同茨城郡
二百六十四石五斗 巻之多

杆内定之助

妻

生江戸
天明五年乙巳十二四始 御目見献銀馬代

坪内喜太郎 会蕃 惣兵衛

定仍

母

勇 菅沼織部正定盈女

寛永十二年丙子十二十三歿葬

四谷全勝寺号悲心妙量大姉

生美濃

慶長年為御小性後大坂役供奉

寛永九年帝六廿五為父跡目預御鉄炮同心五十人

万治三年庚子三十一告病辞隠居同年七九如願

隠居賜六百俵

定次　坪内半三郎

母同

慶長元年丙申生江戸

同十六年辛亥始拜

大神君乃附属

台徳公為御小性組同十九年甲寅大坂役供奉賜三百石

寛永三年丙寅松平右門大夫組御上京供奉

同九年壬申賜　御遺物小判金五十両　同十年癸酉二三為

御行歩頭　同廿一年甲申四月為御先御鉄炮頭加合賜八百石

同年十二十六為御持筒頭　正保二年乙酉二廿六也

寛文三年癸卯十一十八告病辞

延寶元年癸丑十一七歿年七十八葬赤坂龍徳山松泉寺

弓省得院殿自心宗休居士

定　坪内源太郎

母

妻同姓惣兵衛定長女

生江戸

寛文三年癸卯十一十九部屋住為御書院番三枝摂津組

賜三百俵　同八年戊申五廿一小十人鳥居三郎右門組水野

與惣右衛門来而討果両方家士手負多矣

定富　坪内半郎

母同姓惣兵衛定長女　為同姓但馬守定鎧

養子

定鑑　坪内源五郎　能登守　但馬守

母同

生江戸

寛文七年丁未十一廿一新規為御小性組大草主膳正組賜三百俵延宝元年癸丑十一七跡目

元禄十年丁丑十二月為御使番同十五年辛正十一為御先手御鉄炮頭宝永二年乙酉正廿八為町奉行叙諸大夫改能登守享保四年己亥正廿八仍病辞為寄合改但馬守同八年癸卯十十三致年　寿

龍徳山松泉寺号石雲院殿従五位下刻能登守入道

定鑑大居士

女子　母同

徳永平八郎　妻

女子　母同

御小性組

長谷川半四郎　重棟妻

定富　坪内半三郎　致仕可休

寅同姓源太郎　男

寅女

妻小幡

享保十七年辛子三十二歿奉同寺

子鏡心院殿　宝空観妙大姉

生江戸

元祿八年乙亥七六雖無例定鑑平京實躰而如願令為
定富養子旨秋元但馬守以阿部越中守傳之
宝永六年己丑四六部屋住為御書院番伊澤播ノ守組
賜三百俵享保八年癸卯十二月二跡目
同九年甲辰二九拜謝之献銀馬代同十八年癸丑五十四告
病辭為小普請小田切喜兵衛支配同廿一年丙辰四月七
致仕同年六十九改可休元文六年辛酉二三歿年七十五
葬松泉寺号松隆院殿德翁可休居士

定次　坪内半三郎　始藤五郎
實池田筑後守　八男
實母

妻養父笑富女

元祿十二年己卯生江戸
正德三年癸巳三二為智養子阿部豊後守傳之同年十十五
始　御目見享保廿一年丙辰四廿七家嫡千百石為小普請
打木五郎左衛門支配同年六二為御書院番水野丹後守組
延享二年乙丑十八歿年四十七葬松泉寺
号即證院殿萬山黄零居士

女子　母

養子　定次妻

女子

定喜 坪内源五郎

母

妻池田数馬政相女

天明六年丙午二方歿 葬同寺

号瑞鳳院殿永巌貞壽大姉

生江戸

元文二年丁巳十一月始 御目見延享二年乙丑閏十二二跡目

千百石 菊間御老中列坐酒井雅楽頭傳之 為中書御人同

志四郎了 同三年丙寅五二田安勤番 同年七廿九 為

御小姓組阿部周防守組 明和九年壬辰九廿九歿年

葬松泉寺号大真院殿 英嶽義雄居士

政能 池田源三郎

母同

為池田数馬政胤

婿養子

定茂 坪内半三郎

母

妻赤井五平治

女

生江戸

安永元年辰十二 跡目千百石

天明 年 為西丸御書院四番

文化四年丁卯 歿年 葬松泉寺

志 大久保源之正 為大久保富次郎 婿養子

女子 安永九年庚子正十八歿 葬同寺

母同 号智泉院殿玉相慧琢大姉

坪内專藏

貴
貴母

生江戸
文化四年丁卯三五跡目
千百石 無小物成 外四百六十八石五斗五升八合五夕 近高 武州都筑郡 七十石六升 一石
同多摩郡二邑 二百四十六石 四斗七升八合 同高麗郡二邑 三百九十七石 五斗四升四合 比企郡
四百四十石三斗 六升一合 下總州豊田郡二邑 百四十三石二斗 九升一合五夕 上總州長柄郡二邑
二百六十六石八斗 四升三合

坪内喜太郎 又左門 惣兵衛

定長 始一吉

母菅沼織部正定盛女
妻池田内藏助重政女

元和五年巳未生江戸
寛永 年部屋位為御小性組賜三百俵
明暦四年戊戌六三為御徒頭 万治元年戊戌十二廿五加
三百俵合賜六百俵 同三年庚子三十一為御先筒頭
又跡同年七九家督 外分知五百石於菅沼勘解由
天和二年壬戌四廿一加五百石
貞享五年戊辰四十九告老辞 為寄合同年十一之也
元祿三年庚午十二七隠居 同五年壬申正十九歿年

七十四葬武州下沿谷禪河山東北寺
号梅雲院殿春巖定長居士

定望　菅沼勘解由　仍丑年号母方氏
母同

寛永二年乙丑生江戸
正保二年乙酉六廿五新規為御小性組松平淡路守組
同四年丁亥賜三百俵万治三年庚子七九賜分知五百石
延宝二年甲寅九廿歿年五十葬禪河山東北寺
号慈雲院殿本光自性居士

定　菅沼竹之丞　坪内宇右門
母

生江戸
延寶二年甲寅十二十跡目五百石為小番詰
元禄　年　為御小性組後石川備中守組時
宝永七年庚寅三廿三歿年　葬東北寺
号達雲院殿活山澤機居士

定　坪内七之助　次右衛門
寅
辛母

生江戸
宝永七年庚寅五廿一跡目五百石菊門而秋元但馬守遺
為小番詰松前伊豆守組同年七十二継目御禮銀馬代

定

坪内政次郎

寅 水野家女

寅 母

二男

始依五年ヶ高木富三郎

生江戸

定

坪内亀松

母

助次郎

生江戸

女子

為榊原庄五郎職武養女

女子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子
婦

女子
婦内源太郎　妻
山同伊左衛門　妻
再嫁近藤彦九郎　生庶人

女子
志村覺左衛門　妻

一重
定治
坪内左衛門　惣兵衛
母池田内藏助重政女
妻井上筑後守　女延宝七年未　緑組

生江戸
元禄三年庚午十二七家督五千五百卅二石外分知
弟権之助宗高馬寄合大久保加賀守傳之

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

同四年辛未六十一家督御禮金馬代 同八年乙亥爲定火消
宝永六年辛卯四朔爲御持筒頭 十二月十六御書院九番
享保四年己亥七八没年
号本源院殿泰翁道立居士 葬東北寺

定高
坪内権之助
母同
生江戸 天和二年壬戌同五七爲桐間番 同年七大賜三百俵
元禄同年十一廿二爲御書院番 安藤出雲守組 賜三百俵
同四年辛未六十一賜合知千石 同七年甲戌正九没年
葬四谷全勝寺 号良嶽院殿壽應日運居士

定
坪内半蔵
覚右衛門

生江戸
元禄七年甲戌七十一朔日千石 菊間而御老中列坐 阿部
豊後守傳之爲小普請 同八年乙亥二十八継目御禮
同十年丁丑三十八爲御書院番
宝永二年乙酉正十一爲御目付 同五年戊子四十一没
葬四谷全勝寺 号瑞源院殿覚林義園居士

某
坪内
女

定識
坪内十右衛門
母同
宝永元年甲申十十一没 葬同寺 号剛胖院徹應源忍居士
妻同姓惣兵衛定重女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52

生江戸
宝永二年乙酉十一廿八始　御目見同五年戊子六廿六跡目
千石為寄合同年十十五拝謝之献金馬代
享保九年甲辰十九為御書院番賞我周防守組
寛保二年壬戌七十歿年　葬金勝寺
号實性院殿本然自覚居士

定史　坪内権之助　駿河守
母同姓惣兵衛定重女
妻　遠山十摩門景秀乃女
延享元年甲子六十七歿
生江戸
寛保二年壬戌十三跡目千石為小寄
延享二年乙丑九十三為御書院組　寛延三年庚午五朔為

同組頭同十九日布衣宝暦四年甲戌四七為長崎奉行
同年七朔御暇叙諸大夫改駿河守同十年庚辰六廿三為
御勘定奉行同十一年辛巳十一十六卒年五十一葬金勝寺
号功徳院殿泰山良忠居士

女子　母同
女子　母同
女子　母

寛保元年辛酉八十六歿葬同寺
号清光院殿蘭室浮寄大姉
元文五年庚午正廿九歿葬同寺
号春山領院梅林智香大姉
延享四年丁卯五廿六歿葬同寺
号智性院荷葉幻翠禅幸女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

定

坪内主税　徳三郎

生江戸　宝暦十二年己巳十二　雖目千石

女子

女子　寅

養子　徳三郎　毒

宝暦十一年己巳四十七又奔同寺
于花紅院柳顔智白狩女

定香　坪内徳三郎

女

生江戸　天明元年辛丑十二七歳婚為菅沼上膳正子
千石　無小姓成比高　濃州羽栗郡四郎七百四十石同名務郎
二百五十石
三斗

某

女同

天明七年丁未五十六又奔同寺
于功雲院八月某無得童子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子

享和三年癸亥十月廿六日寺
于寶珠院大外智光神事女

定信

坪内數馬
實南部大膳大夫重信男
實母家女

始定時
定堅

坪内齋宮 左衛門 玄蕃 惣兵衛 伊豆守 号道雪
實一族同姓 勤履 定清二男
實母 尾州内 野口垣 泉水 女

元祿六年蕃生濃州
宝永六年巳丑十一十六為養子同年十二廿七始
御目見号左衛門 享保四年亥九廿七跡目五千五百卅
三石餘 菊門而御老中列坐水野和泉守傳之為寄合

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

改玄蕃同年十十三継目御禮献御太刀金馬代
同十二年丁未九十五為定火消同年十二十六本衣其分容間
元文三年戊午七廿三為百人組頭延享三年丙寅九七
為甲府勤番支配同年十一十五叙諸大夫改伊豆守
寛延三年庚午十二仍病辞為寄合
宝暦十一年辛巳八廿七致仕号道雪
安永三年甲午三十六卒年八十二葬東北寺
号陽嶽院殿従五位下前豆州春嶺道雪大居士

女子　埒内十右衛門定哉妻

定孝　埒内左門　惣兵衛
母家女

妻小濱孫三郎行隆女
寛保二年己酉十二廿縁組

生印
宝暦十一年辛巳八廿七家督五千五百三十三石余蔔間而
御老中列坐井上河内守傳之為寄合明和　年定火消
安永三年甲午二十五為百人組頭同四年乙未八廿二仍病
辞為寄合同七年戊戌六四歿年　葬東北寺

女子　午興譲院殿　恭外道倫居士
石谷十蔵　妻

女子　二人
母同
安藤九一郎以直妻
大久保兵九郎忠英妻

三重彭
宝暦八年戊寅正廿九夭寅同年
号端松院殿洞岳自宝三重子

始定為
定恒　坪内式部　左衛門　式部　義濃守
改定系　實鳥居丹波守忠意二男
實女家女
寛保二年壬戌生　寛政元年七百十廿一歿　奔同寺
于慈明院殿江月恵照大姉
安永五年丙申十一廿九　家督　黄門而得老中型松平周防守
傷之為寄合
同六年丁酉二　為定火消　天明　年　為中書請組配
寛政廿年癸丑六四　為御小性組番頭　同年十二十六　叙
諸大夫改義濃守　同八年丙辰八　卒年五十五　葬東北寺
号

東

天明八年丙申八廿七　奔同寺
于心源院殿秋嶽宜芳童子

新

三男
定儀　坪内式部　左京　始鎌五郎
女

寛政元年七百十二廿二　奔同寺
于陽光院殿春堂智清童女

生江戸　天明二年癸卯　生
寛政八年丙辰十　跡目為寄合
五千五百三十三石　外二石　内四石二斗　外十石　外小物成高
浪州各務郡六郡　三千三百卅九石　同物栗郡八郡　千七百九十三石
上州新田郡　二百卅　同邑樂郡　二百五十三石

女子

寛政二年夏正十一月葬同寺
号青巌院殿義山妙利書

清和源氏
壺井　本國河内　紋九二引　三葉柏　一重菊　稽紋　鞠狭

長勝　壺井治右衛門
生相摸
仕北條氏政氏直天正十八年庚寅小田原落城後浪人
勢居以安藤五花門重信始拜
大神君命相州中原御代官寛永十年癸酉十二十八歿

永重　壺井金大夫
女

生伊豆
寛永十年甄明文跡明賜二百俵為御勘定大坂両度役
供奉寛永十年五百跡目賜二百俵後為御勘定組頭加
二百俵凡賜四百俵正保四年丁亥五十四歿

清重
今村九郎兵衛
母今村九郎兵衛
為外祖父今村九郎兵衛
女
養子

重信
壺井小左衛門
母同
妻小笠原伊兵衛直之妹
寛文五年乙巳十一
于寒松院妙山日貞

寛永二年乙丑生相州中原
同廿一年甲申六十六部屋住御書院番上野阿波手組賜
三百俵正保四年丁亥跡目四百俵
元禄四年辛未八三請朝同十六日辞為小普請参役
壹岐守組同十六年癸未六朔歿年七十九葬大光山普寺
号善地院殿
壺井金右衛門
神田御小納戸三百歩俵

信俊
壺井三右衛門
實今村九郎兵衛清重長男
實母
妻松平新平勝直女
慶安三年庚寅生
承應元年壬辰實父今村九郎兵衛清重歿断絶時信俊

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

年三歳寓居重信許一万治三年庚子八十五為養子
松平伊豆守傳之同年九十五始　御目見
寛文七年丁未十二廿一為御小性組本多土佐守組賜三百俵
文祿十二年己卯閏九十賜御救金四十両同十三年庚辰土
廿九依捕無宿者大執賜時般二百土屋相模守傳之
同十六年癸丑九廿一蹄目四百俵
享保四年己亥五十八告老辭賜金二枚為小普請中川
伊勢守組同年八二為酒井大学支配
同十三年戊申十一十八年年七十九葬善立寺
于芳林院圓樹日觀

長記

壺井傳右衛門

實小笠原伊兵衛直之二男

實母

妻

生江戸

宝永二年乙酉十二廿一以養母方従弟續為養子旨加藤
越中守傳之同六年己丑四六為御書院番板倉筑後守組
享保八年癸卯九廿一菱喰射留翌廿二日賜時般三
同十年乙巳七十一為
小次郎君御近習書賜御足二百俵合五百俵高外二百俵
同年十二十八布衣同十三年戊申十二廿五蹄目四百俵

正徳四年甲午正六死　無同寺
号好用院妙莊日身

同十四年己酉閏九廿八加二百俵兀賜六百俵移　男為用人
元文四年己未九朔為寵御裏御門番頭
寛保元年辛酉九二歿年　舞善寺
于芳心院

長敦　壷井　主計　小左衛門
母

妻　蜂屋小十郎定章女
妻　御先手　中根永馬　養子

生江戸
享保十九年甲寅三十九始　御目見

久維　过　三永
母

生江戸

过　十次郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

清和源氏

辻

京都村雲瑞龍寺宮本長左衛門男

正房　母　妻　秋山十郎左衛門利政女

江戸生

大猷公御側御奉仕相勤兄又左衛門奉仕候

岩有之兼應三年年八十一新親王君御用十八日於井橋御殿始祥

同世の日御小性下拵村出ふ以下に入御小姓御用御給候ふ

延宝元巳迄相勤同十二十八於神田御腰物同御石川御留守後

天和三亥の夏也一同拾年御殿御勤ふ

同文年間十七申三五死小石川蓮花寺に葬地也一妙境

又右衛門正房御小性下時万治二年小石川御殿屋敷地面坪數

如ゝ

源姓

辻　　蒲三河　紋左巴

酒

仁明天皇後胤

盛吉　辻　一樂　　盛　辻

慶長十八年春正廿歿

于清泉院一樂

神田御殿御勘定

寛文十年庚戌七廿八歿　奔

白山龍雲院

号快然常慶居士

盛利　辻　六郎右衛門　甚太郎

生江戸

寛文十年 房成父跡 鞆田御勘定賜百俵 後移
御書丸御足五十俵 其後為御勘定 組頭加百俵 合二百五十俵
元祿十一年戊寅十二廿七 賜時服二旨 小笠原佐渡守傳之
同十二年己卯二二 為義濃州御代官 岩手藤左衛門跡加合
五百石 刀筆史 訪屋 縁類阿部豊後守傳之
享保三年戊戌七十九 為御勘定 吟役 郡代如元同十七二十一 辭
為寄合
享保十七年壬子閏五十一 致仕 賜二百俵

盛 辻 遠 太郎 六郎 右衛門
母 西丸御切手 細井市兵衛 女
主江戸

享保三年戊戌七十九 為御代官
為元御留守居
同十七年壬子閏五十一 家督 五百石 菊間 ノ木平伊豆守傳之
同年七十八 為郡代 同二十年乙卯六 歿

女子 間宮 監物 妻
女子 下田 幸大夫 妻
女子 柳原式部大輔臣 中根 善次郎 妻

盛盈 満 女 辻 甚太郎 六郎左衛門

生江戸

宝暦七年丁丑五廿一 勘定位為大御番松平伊勢守組

明和八年辛卯二八為拂万御勘戸

女子 女同 駒井 御丹手 半蔵 妻

女子 女同 曽屋

大奥御三間

辻 女同 富次郎 為兄六郎左衛門 養子

辻 富次郎 女子 辻 鉄戒

寅弟

盛貞 寺 辻 甚太郎 六郎右衛門

寅中山 雅殿助 寅女

四男

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

盛

辻 源五右衛門

母同

神田御殿御勘定賜百俵後移 御本丸

貞享二年乙丑九五為関東御代官

元禄二年己巳五朔増地四千石

守定

辻 久太郎 寛文十年庚戌生

母

生江戸

元禄二年己巳八六新規為御勘定賜百五十俵

盛居

辻 五郎右衛門

寛

寛母

妻同姓五郎右衛門盛利女

延享四年卯十九歿葬同寺

号貞壽院天應妙常大師

享保十九年甲寅六廿一致仕延享三年丙寅九廿九歿
葬龍雲院于頂松院孤峰如雲居士

母子 母

養子 盛居号

盛陰 母

辻 源五郎

生江戸
享保十九年甲寅六廿一壽暦 菊間御老中列坐 松平
左近將監傳之為中普請大閣建四郎了能
同二十年乙卯正廿六為大御番

寛延二年己巳六廿三為御代官
天明四年甲辰八之歿年
于松濤院殿仁嶽道儀居士 葬龍雲院

盛意 母

辻 欽之丑 五郎之郎

生江戸
天明四年甲辰十一六跡目三百俵 菊間御老中列坐牧野
越中守傳之為小普請

女子 御前 杉田五左衛門忠明妻

盛附 辻 源右衛門 弥右衛門

母同

桜田御殿御書院番賜二百俵 寶永元年甲申移二丸焉

焼火間番同六年己丑十九為西丸焼火間番又大御番

松平志摩守組

盛 辻 右五郎

母

寶永六年己丑四大御屋位焉大御番

享保三年戊戌五十歿

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

盛恭 辻 陣一兵衛 [illegible] 火 [illegible]
母

元禄 六年 [illegible] 生 [illegible]

寛延三年 [illegible] 致仕 宝暦十二年 [illegible] 七十 [illegible]
龍雲院号一日 [illegible] 智岸衛 [illegible]

盛興 辻 陣 藏
母

延享四年 [illegible] 七 [illegible] 寺
[illegible] 仁 [illegible]

守休 辻 内 藏助
盛
母同

生 [illegible]
寛延三年 [illegible] 四 [illegible] 二百 [illegible]
酒井左衛門尉 [illegible] 中 [illegible]
宝暦十年 [illegible] 四 [illegible]

女子
母同

加藤傳右衛門 妻

[illegible]卿 辻 左源次
母同

為 [illegible] 太郎
養子

盛恭 辻 陣一兵衛 [illegible] 火 [illegible]
母

元禄 六年 [illegible] 生江戸

寛延三年 庚午 四廿五 致仕 宝暦十二年 壬午 二六 歿年七十 [illegible]
龍雲院号一日 [illegible] 智岸 [illegible] 居士

盛興 辻 陣 藏
母

延享四年 丁卯 七廿歿 [illegible]
于陰 [illegible] 仁 [illegible] 宗 [illegible] 信士

守休 辻 内 藏助
盛
母同

生江戸
寛延三年 庚午 四廿五 [illegible] 二百俵 [illegible] 御老中列 [illegible]
酒井左衛門尉傳之 小普請 [illegible] 七左内支配
宝暦十年 庚辰 四廿 [illegible]

女子
母同

加藤傳右衛門 妻

[illegible]
辻 左源次
母同

為兄 久太郎
養子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

源姓

辻

本國

久正

辻　佐次右門　與惣左門　忠兵衛

属木村弥一右衛門手奥州役徒行無御奏者拜
大神君慶長五年於子閑原役奉属
台徳公忍真田安房守篭信州上田城申達而深谷臺武者
揃　上覧供奉列酒井宮内大輔奥平美作守大田世四郎
鎮目半次郎戸田半平中山勘解由小野次郎右門及久正
命荊田奉行自城扇馬験者十五六人通曲輪方味乞
大勢馳向而鉄炮厳不能進久正黒地自辻字指物

而附桐際敵早退去 大田邑四郎有了戰功 城兵十五六人
出合鎗邑四郎射四人 久正鎗付直以刀斬倒二郎右衛門
二太力也 久正欲取其首向下黄漆頰當兵突久正共
鎗突入門合之中山勘解由突其敵敵未突立故久正
小野中山陷堀半平未焉未合鎗久正上堀寄門際
挑戰軍功多而不待御下知動御先手有御不審
各親居懸毒翌年 秀康君訴訟各 御赦免賜
未地為大御番
同二十年乙卯正廿一歿
于淨智院正銀居士

久吉 辻 忠兵衛

繼父跡目賜五百五十石後大御番堀市正組
寛永十年癸酉二七並加二百石凡賜七百五十石余
同 十四年丁丑 七廿一歿

高昭 辻 忠兵衛
母

生白戸
寛永十四年丁丑 跡目七百五十石
大御番
天和三年癸亥八廿歿年
于見理院秋露日忠

奉牛込原町 正定山寺國寺

昭正　过　太郎助　忠兵衛

母

生江戸　延宝六年戊午三廿九為部屋住大御番賜三俵
天和三年癸亥十二十四跡目七百五十石余菊門而御老中
列坐戸田山城守傳之改忠兵衛　同四年甲子二十継目御禮
献銀馬代　元禄六年癸酉六廿六為大御番組頭
同七年甲戌十二歿年
号縁成院殿蓮心日道居士

盛昭　过　織部

寅佐橋甚兵衛
寅母

二曾

妻

寛保三年癸亥十二十六歿葬
同寺号盛久院殿妙栄日仁大姉

生江戸
元禄七年甲戌十二十二跡目七百五十石三斗為小普請
同八年癸亥二十八継目御禮献銀馬代
正徳元年辛卯十十六為新御番稲生安房守組
同五年乙未十二七歿年　幸國寺
号遠遥院殿鷲山日耀居士

女子

佐橋左源太住同寺

良昭　過　太郎助

母

生　寿新庄

延享二年乙丑六廿三歿葬同寺
号華徳院殿妙盛日芳大師

正徳五年乙未十二廿六跡目七百五十石三斗　苟間而御老中

列坐戸田山城守傳之為小普請

享保元年丙申八九継目御禮献銀烏代瀧川讃岐守之配時

同九年甲辰十九為大御番諏訪若狭守組

明和五年戊子十十五歿年　葬平岡寺

号恵光院殿常然日明居士

女子　母　舟橋

延享三年丙寅九十一歿葬
同寺号獻珠院妙愛日納

盡井愛之助

母大同久藏志以女

生　寿

女子

女子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用